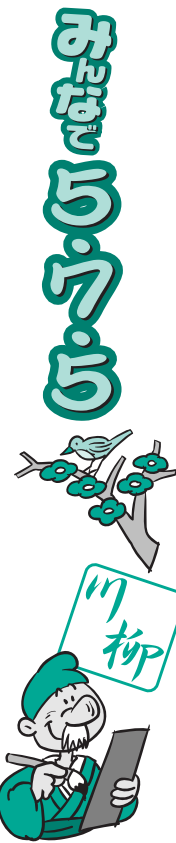


みんなで創るみんなのページ。ここ最近、川柳が大人気です。まちの宝物(写真)も引き続き募集中。投稿いただくときは、お名前、ご住所をお忘れなく！素敵な作品をお待ちしています。



- この世へと 帰れし介護 家族愛
- 宝クジ 見事期待を 跳ね返し
- 泣いている 赤子の顔に 未来見る
- 名医者も 手も足も出さず 難病
- 玉入れは タマに入らな 満悦
- 姉妹が 亡き父母しのぶ 墓参り
- 甥とする 豪華花火に 我忘れ
- 球児の 熱い戦い 涙あり
- 報恩講 杖をたよりに 八十路かな
- 地藏盆 経に負けじと 法師蟬
- 友よれば 昔の話 もり上がる
- 夏野菜 作った筈が 猿のエサ
- 八十路すぎ ちゃんと呼び合う クラス会
- ナビみたい 黙って直す 嫁欲しい
- 孫ら育ち だれがだれだか 盆ざしき
- こし光り 何処で食べても 旨いめし
- へそくりを 入れたところの 物わずれ
- 日焼けして 思い出のせて 新学期
- 新米で ますめし炊いて 月を見る
- おいしいと 食べたし後の 体重計
- つらいこと 笑ってすげせば とんで行く

- えさ求め 雨の中走る 母猫の愛
- 丹精の 品猿の群 ごつつあん
- 収穫を 終えし圃場に 手を合わせ
- 寝たような 寝てないような 熱帯夜
- 鳴るたびに 携帯の待ち受け 孫の笑顔
- 激暑に 寺院改修 汗光る
- 運動会 みんなまけないゾ：の顔で来る
- 虫が鳴く 読書の秋に 図書借りる
- 三味の音が 新興の街で 響く晩夏
- 半分こ 兄ちゃん先に にんまりと
- 王子様 明るいニュース 湧立たせ
- みのり田に 苦勞の汗の 露光る
- 月明り 鈴虫平和の 曲運ぶ
- お盆来る 仏壇かざって 主人待つ
- 読書して 忘れた漢字 思い出し
- 足萎えの 吾に優しき 阿弥陀さま
- 修身を 今を昔に 戻りたい
- 秋になり 観光時季が やって来た
- 暑いとき 冷えた麦茶が 元氣出す
- 孫の守り 疲れていつか 添い寝する
- 秋空の 星のきらめき 胸踊る

毎日募集中!

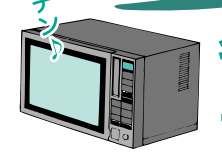
◆みんなの宝物「川柳」
テーマは特に設けません。ひとり作品まで、自由に発想した作品をお待ちしています。

◆まちの宝物「写真」
カメラ付携帯電話やデジタルカメラで撮影したあなたが見つけた「まちの宝物」をお送りください。(地域で受け継がれている伝統や祭など)

★投稿方法 毎月5日×切。
郵便またはEメールにより、投稿者氏名(ペンネーム不可、ふりがな付)、住所、連絡先を必ず書き添えて投稿してください。
〒200-1502
高島市新旭町北畑565番地
高島市役所秘書広報課
「みんなのページ」係まで
TEL:08-30-0830
E-mail: koho@city.takashima-shiga.jp

★注意!!
掲載作品は秘書広報課で選考します。
・1号につきひとり一点まで掲載します。
なお、掲載希望が多数の場合や締切を過ぎた場合掲載しないことがあります。
作品タイトル、住所、氏名、連絡先の無いものは掲載できません。投稿前にも一度ご確認ください。

ちょっと考えてみよう



省エネ長者作戦にチャレンジ

毎日の生活の中で、節電などの省エネを心がけることは、地球にやさしく、家計を助けることにもなります。また省エネは、家庭でできる地球温暖化対策です。このコーナーでは家庭で簡単にできる省エネを紹介します。

- ◆省エネアドバイザー
【電子レンジ編】
野菜の下ごしらえに
電子レンジを活用
●葉菜(ほうれん草、キャベツ)の場合
・ガスコンロ
年間でガス 8.32 m³
約1,240円
・電子レンジ
年間で電気 13.2i kWh
約290円
年間差額 約950円の節約
- 果菜(ブロッコリー、カボチャ)の場合
・ガスコンロ
年間でガス 9.10 m³
約1,360円
・電子レンジ
年間で電気 15.13 kWh
約330円
年間差額 約1,030円の節約
- 根菜(ジャガイモ、里芋)の場合
・ガスコンロ
年間でガス 9.48 m³
約1,410円
・電子レンジ
年間で電気 22.0i kWh
約480円
年間差額 約930円の節約
- ★チン！は省エネクッキングの合い言葉
●煮込み料理の野菜はチン！してからお鍋へ。煮崩れも少ないですよ。
●中までしっかり火を通したいときは、焦げ目をきれいに付けたあと、電子レンジへ。ガス代的大幅節約になります。
- 出典
家庭の省エネ大事典(財団法人 省エネルギーセンター発行)
http://www.eeci.or.jp/dict/

◆このコーナーに関するお問い合わせは… 環境エネルギー課まで。

ちょっと考えてみよう

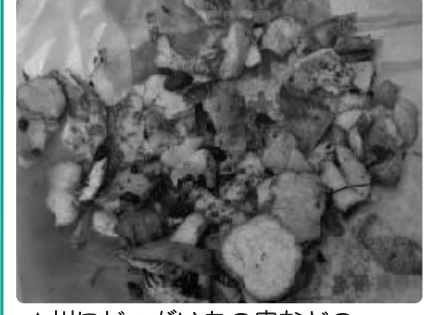
川はごみ捨て場ではありません

このごろ、よくビニール袋や発砲スチロール、生ゴミが川に捨てられているのを見受けられます。少し前までは一人ひとりが川をきれいにしようとする心がありました。それは、川で洗濯をし、洗い物をして、私たちの生活には川の水が身近で大切なものだったからです。川を汚すと他の人に迷惑がかかるという気遣いがありました。

しかし、今ではどうでしょう。川の水を使わなくなっただために、その気遣いが薄らいでいるように思います。蛇口をひねればいつでも水が手に入ります。川の水がなくても洗濯ができるし、洗いうちもできる。便利な世の中になったのですが、その反面、川なんてどうでもいいやという思いが広がっているのではないのでしょうか。

は私たちの誇りであり、私たちの宝物です。川のある、水の綺麗なまちは私たちの心にも潤いを与えてくれます。川を綺麗にすることはひとりではできません。みんながその思いを持っていなければなりません。下流の人々のことを思い、琵琶湖のことを思い、生き物たちのことも思ってください。綺麗な川がある集落はまち全体が綺麗です。逆に川が汚いとまち全体が汚く思えてしまいます。今一度川のことを思ってください。川に思いやりを注いでください。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

(環境エネルギー課)



▲川にじゃがいもの皮などの生ごみが捨てられていました。